

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書4章1～13節＞

面白い話。しかし首を傾げる所もあり。そこを追求することが大事。

①そもそも、この出来事は何なのか？ 何のために起こったのか？

一体、この荒野でのイエス様の誘惑は何なのでしょう？ 神様の御子であることが示された洗礼(3:21-22)を授かったすぐ後に用意されていたかのように思える出来事です。悪魔が苦しめたというより、神様が用意されたように思えるのは決して間違っていない感想です。

②イエスを引き回した霊は悪者？ 否、イエス様に満ちた聖霊！

「荒野の中を霊によって引き回され」(1b)という日本語訳は「霊」を悪くと思わせます。しかし、「引き回す」と訳されたギリシア語の原語は「連れて来る」(マタ 21:7)「導く」(ロマ 2:4)といった、良い意味で用いられることが多い言葉です。さらに、この「霊」はイエス様が洗礼を受けて「聖霊に満ちた」(1a)とある「聖霊」と同じです。

③ヨブ記第一章と似ている！ 悪魔を悪者と決めてかかるべからず！

さらに、この物語に出て来る悪魔(ディアボロス:告発者)を悪者と決めてかかってはなりません。聖書においては、ヨブ記の一章に出て来る「サタン」(ヨブ 1:6)と同じで、世界中の人間の様子を見て回って神様に報告する(告発する)役目を持つ天使の一人です。以上から、①に記した通り、この誘惑(試練とも訳せる)は神様がこれから伝道を始める(14-15)イエス様のために用意して下さったものと考えerべきです。

④主の祈りの「試みにあわせず、悪より救い出し給え」と似ている！

後にイエス様が教えて下さった「主の祈り」。その中の「我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え」を思い出します。これは、「苦しい目に会わせないで下さい」と祈っているものではありません。「苦しい目に会った時に、神様を疑ったり恨んだりしないように導いて下さい」という意味なのです。荒野の誘惑は、この祈りに応えるように、これから伝道に出て行くイエス様のために神様が用意して下さった試練なのです！ よって、教会は昔からこの出来事を、イエス様が「真の人」として試練(誘惑)に耐える姿を私たちに示して下さい出来事として受けとめて来たのです。イエス様だからできたのだと言ってはなりません。これから3つの誘惑にイエス様がどう打ち勝たれたかに目を注ぎ、私達も誘惑に打ち勝つことができるようになりたいと思います。来週へ。